

多様な武道等指導の充実 武道推進モデル校 事例報告

<h3>空手・柔道</h3> <p>礼法や受け身などの基本的なことを中心に、地域指導者と連携して行う授業の充実</p>	<p>薩摩川内市立平成中学校（鹿児島県）</p> <p>電話番号 0996-30-1284</p> <p>メールアドレス ssc44@ssc.edu.satsumasendai.jp</p>
---	---

●実践研究のねらい

- 空手と柔道の共通すること、また、それぞれの違いを体験させることによって、それぞれの良さに気付かせる。
- 地域指導者と連携して、空手の歴史やより専門的な知識・技能の定着を図る。

●多様な武道の指導モデル 第2学年（1学級25名）

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
種目		空手	柔道										
学習の流れ	オリエンテーション（空手・柔道）	導入（あいさつ、健康観察、本時の学習の見通し）											
		準備運動	準備運動、基本動作と受け身の練習										
		礼法の学習	基本動作の学習	固め技の学習					投げ技の学習				学習のまとめ
		基本動作の学習	受け身の学習	固め技の学習					投げ技の学習				学習のまとめ
		整理（整理運動、本時の振り返り、次時の連絡、あいさつ）											

●指導の工夫

1 効果的に指導するための工夫

- 空手と柔道で共通して学習できる内容の精選
地域指導者と話し合い、共通して学習できる内容を授業に取り入れる。
- 生徒の視覚的理解を促す資料の充実
実技の教科書や掲示物を活用する。

2 生徒の安全を確保するための工夫

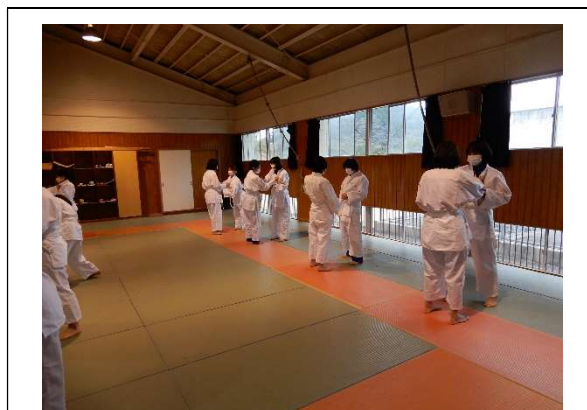
- 安全な運動の行い方の理解
オリエンテーションや毎時間の授業の導入で安全な運動の仕方について説明する。
- 単元を通した受け身の学習
毎時間受け身の練習時間を確保する。

●授業の様子



【空手：基本動作の学習】

突き、受け、蹴りの三つの基本動作を学習し、空手の技の特性、柔道との違いを理解することができた。



【柔道：投げの学習】

空手の学習を生かし、受けと取りのお互いの動きを理解して練習を行うことで技の理解が深まった。

●生徒の意識、感想、変容など

2種目の武道を学習したことで、武道への関心は高まりましたか。	2種目の武道を学習したことで、伝統的な考え方や行動の仕方への理解は深まりましたか。	これからも多くの武道種目を学習したいと思いますか。
<p>■高まった ■やや高まった ■あまり高まらなかった ■高まらなかった</p>	<p>■深まった ■やや深まった ■あまり深まらなかった ■深まらなかった</p>	<p>■思う ■やや思う ■あまり思わない ■思わない</p>

●成果と課題

- 初めて空手をする生徒が多かったので、興味関心をもって、積極的に授業に参加する姿がみられた。一方で、アンケート結果から「武道への関心が高まりましたか」、「これからも多くの武道種目を学習したいと思いますか」という質問に対して、「高まらなかった」、「思わない」と回答した生徒が一定数いるので、興味をもつことができる支援や指導方法を更に工夫していく必要がある。
- 今回は柔道の指導計画の中に、空手2時間を加えて単元計画としたが、2時間では時間に余裕がなかったため、あと1時間増やすことで、より学習が深まると感じた。
- 空手と柔道の共通して学習できる内容をもっと精選していかなければならないと感じた。
- 空手の指導においては、指導教員自身が未経験のため、外部指導者の存在は大変重要であると感じた。安全指導や基本動作でのポイントなど教科書では説明されていない多くのことを学ぶことができた。今回学んだことを踏まえて、地域指導者と引き続き連携して、次年度以降の指導計画を検討していかなければならない。